

平成16年度 新規着工準備箇所

担当課：本省都市・地域整備局街路課

担当課長名：齊藤 親

事業名	JR 北陸本線等連続立体交差事業 (富山駅付近)	事業区分	連続立体交差事業	事業主体	富山県
起終点	自：富山県富山市明輪町 至：富山県富山市曙町	延長	2 km		

事業概要：本事業は JR 北陸本線、高山本線および富山地方鉄道本線の富山駅付近（2 km）を連続立体交差化し、交差道路における渋滞を解消し、道路交通の円滑化を図るものである。

事業の目的、必要性：連続立体交差事業にあわせ、富山駅の駅前広場や都市計画道路等の都市基盤を整備し、渋滞の解消と事故の防止を図るとともに、周辺のまちづくりを進め、地域の活性化・一体化を図るものである。

全体事業費	約 390 億円		計画交通量	9万台/日	
費用便益比 (交差道路の整備等を含む)	B / C	総費用	総便益	基準年	
	1.6	344 億円 事業費：344 億円 維持管理費：0 億円	555 億円 走行時間短縮便益：537 億円 走行費用減少便益：18 億円 交通事故減少便益：0 億円	平成15年	

- 事業の効果等**：
- ・交通円滑化の推進（鉄道との交差道路の整備などの都市基盤整備による交通の円滑化）
 - ・中心市街地の活性化（富山駅前広場整備等の中心市街地での都市基盤の整備）
 - ・その他（鉄道により一体的発展が阻害されている地区を解消）

関係する地方公共団体等の意見：富山県民新世紀計画（2001～2010）で富山駅周辺の南北一体的なまちづくりが、富山県総合計画新世紀プラン基本構想（2001～2015）で富山駅周辺の鉄道の高架化が位置付けられているとともに、富山県と富山県より本事業の早期実現の要望を受けている。

